



令和3年度環境省温室効果ガス排出量 算定方法検討会の開催について

令和3年度環境省温室効果ガス排出量算定方法検討会（第1回）
令和4年2月2日（水）



- 国連気候変動枠組条約（UNFCCC）第4条、第12条及び関連する締約国会議決議により、附属書 I 国は、**自国の温室効果ガス排出・吸収目録（インベントリ）を作成し、毎年4月15日までに条約事務局に提出**する必要がある。
- 附属書 I 国が提出したインベントリは、**条約事務局が編成する専門家審査チーム（Expert Review Team: ERT）**により、温室効果ガス排出・吸収量が適切に算定されているか等について**審査を受ける**こととなる。また、カンクン合意に基づく2020年度排出削減目標（2005年度比－3.8%以上）の達成に向けては、2年に一度提出する隔年報告書（Biennial Report: BR）に対する審査プロセスにおいて、**目標達成に向けた排出・吸収量のトレンド及び各対策・施策の進捗状況等の評価が実施**されている。
- 我が国のインベントリは、**地球温暖化に対する国内の政策・措置を検討する際の基盤となる極めて重要な情報**であることから、最新の科学的知見や審査におけるERTからの改善勧告等を踏まえ、**可能な限り我が国の実態に即した排出・吸収量を算定する必要がある**。加えて、2020年度排出削減目標及びパリ協定の下での2030年度排出削減目標（2013年度比－46.0%。さらに、50%の高みに向けて挑戦を続けていく。）を確実に達成することを目指しており、**国内の政策・措置による排出削減効果をインベントリに適切に反映していく必要がある**。
- 上記を踏まえ、2022年4月に提出予定のインベントリ（1990～2020年度の温室効果ガス排出・吸収量）の作成に向け、**UNFCCCインベントリ報告ガイドライン（Decision 24/CP.19）、2006年IPCCガイドライン、2006年IPCCガイドラインの2019年改良版に基づく算定方法の改善・精緻化、過去の審査において指摘を受けた課題への対応、対策・施策による削減効果や進捗状況を反映した算定方法の設定等**を検討するため、温室効果ガス排出量算定方法検討会を開催する。

- 2022年提出インベントリ（1990～2020年度の温室効果ガス排出・吸収量）における算定方法、活動量及び排出係数等の新規設定及び従来からの改善
- 2006年IPCCガイドラインの2019年改良版（2019 Refinement to the 2006 IPCC guidelines on National Greenhouse Gas Inventories）の適用に関する検討
- 各分野の主要排出源におけるパラメーターと削減対策・効果との関係性に関する整理・検討
- その他

- 温室効果ガス排出量算定方法検討会の下に設置した**1つのワーキンググループ**及び**8つの（小）分科会**において検討を行う。
 - ✓ 分野横断的課題：インベントリワーキンググループ（WG）
 - ✓ エネルギー・工業プロセス及び製品の使用分野：エネルギー・工業プロセス分科会
 - ✓ CCU（CO₂の回収・利用）に関する事項：CCU小分科会
 - ✓ 運輸分野（CH₄, N₂O）：運輸分科会
 - ✓ HFC等4ガス分野：HFC等4ガス分科会
 - ✓ 農業分野：農業分科会
 - ✓ 廃棄物分野：廃棄物分科会
 - ✓ 土地利用、土地利用変化及び林業（LULUCF）分野：森林等の吸収源分科会
 - ✓ NMVOC（非メタン揮発性有機化合物）分野：NMVOC分科会

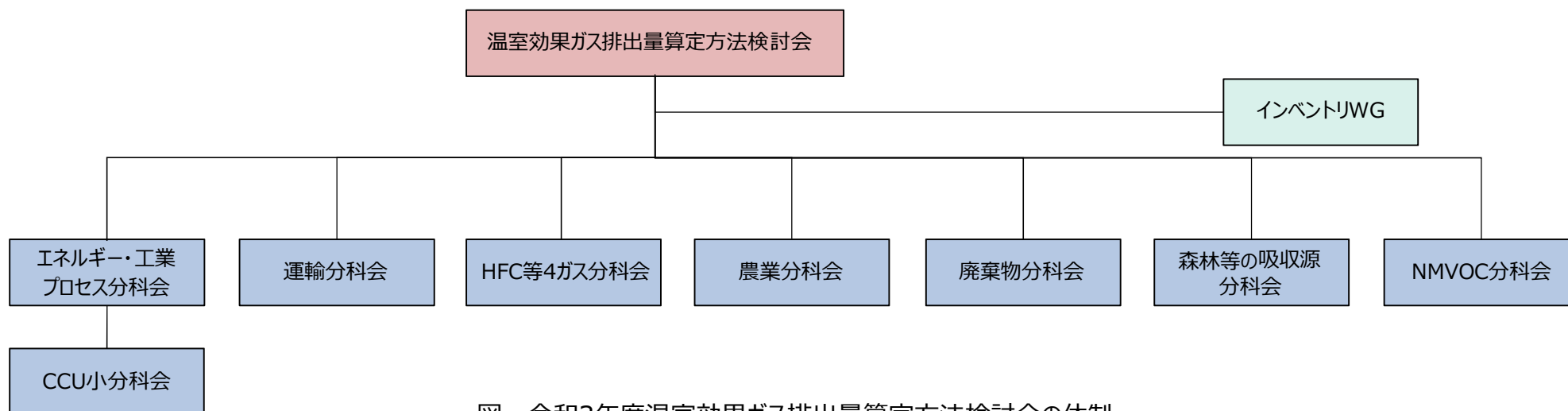


図 令和3年度温室効果ガス排出量算定方法検討会の体制

検討スケジュール



- 本日開催する温室効果ガス排出量算定方法検討会（親検討会）までに各分科会を開催し、2022年4月に提出予定の2022年提出インベントリ（1990～2022年度の温室効果ガス排出・吸収量（確報値））に反映する算定方法の検討を行った。
- 本日、同算定方法の御承認をいただいた後に、インベントリの作成を行う。
- なお、2022年中に作成する第5回隔年報告書（BR5）において、2022年提出インベントリで算定した2020年度の排出・吸収量を報告し、カンクン合意に基づく2020年度排出削減目標（2005年度比－3.8%以上）の達成評価が実施される予定。

時期	活動	主な内容
2021年10月～2022年1月	各分科会（第1回）の開催	今年度の検討方針の確認 2022年提出インベントリに反映する算定方法の検討
2021年12月10日	2020年度排出量（速報値）の算定・公表	2020年度排出量（速報値）の算定・公表
2022年1月	各分科会（第2回）の開催	2022年提出インベントリに反映する算定方法の検討 積み残し課題の検討
2022年2月2日 （本日）	温室効果ガス排出量算定方法検討会（親検討会）の開催	2022年提出インベントリに反映する算定方法の検討・承認
2022年2～3月	2022年提出インベントリ（確報値）の作成	2022年提出インベントリの作成（承認された算定方法等の反映、2020年度活動量の反映、排出・吸収量の算定、国家インベントリ報告書（NIR）の作成等） 品質保証・品質管理（QA/QC）の実施
2022年4月	2022年提出インベントリ（確報値）の提出・公表	UNFCCC事務局への2022年提出インベントリの提出・公表 （提出期限：4月15日）
2022年中	第5回隔年報告書（BR5）の提出	2020年度排出削減目標への進捗を含む第5回隔年報告書の作成・提出